

評価項目	評価指標	具体的方策	評価基準					中間評価			
				4	3	2	1	評価	成果○と課題▲	改善策	委員からのコメント
確かな学力の育成	各種学力調査で全国平均値を＋5P超えることができる。 3年：全国学力学習状況調査 1年,2年：CRT【国社数理英】	・全教職員で本校の課題を共有化し、個に寄り添った学習支援をするために、「学習定着週間」や長期休業中の補充学習を行う。 ・国・数・英3教科の家庭学習ノートの取組を行い、授業で学んだことを繰り返し学習させたり、振り返りを行わせたりしていく。 ・各種テストにおいて、生徒実態を把握し、PDCAを行い授業改善につなげる。	全国平均を上回る教科の割合	80%以上	60%以上	40%以上	40%以下	4	※1・2年生の標準学力調査は12月実施予定 ※全国学力・学習状況調査の結果 各教科の平均正答率 国語63%（＋5） 数学61%（＋9） ○今年度実施された国語・数学の2教科とも全国平均を上回ることができた。 ○無解答率の全ての教科において全国平均よりも低く、難問に対しても粘り強くあきらめずに取り組む姿勢がついてきている。 国語0.7（▼3.2） 数学3.8（▼7.4）	・これまで通り、ヤングスポットなど「書く活動」に積極的に取り組ませ、粘り強く取り組める生徒の育成を図る。 ・10月18日に行われる海田西中学校公開研究会に向けて、教職員一丸となって授業改善に取り組み、さらにレベルアップした授業を行い、生徒の資質・労力の向上を図っていく。	
豊かな心の育成	生徒の自尊感情を高める肯定的な回答を全校で80%以上にする（i-check「自分には良いところがあると思いますか」項目）	○あらゆる教育活動において、生徒がポジティブに自己を捉えるよう、タイミングの良い肯定的評価を学校,保護者,地域が一体となって行う。 ○体験活動の意義を説明し,生徒に意欲を持たせる。	i-checkの肯定的回答の割合	80%以上	70%～79%	60%～69%	60%未満	2	5月に実施したi-checkの肯定的回答の割合 1年 67.9% 2年 68.9% 3年 70.9% ●全学年ともに目標である80%を越えることができなかった。 ○学年が上がるにつれて、わずかではあるが肯定的回答をする生徒の割合が増えている。	・これから行われる行事においても、文化祭での有志発表など生徒が主体的に考え取り組む活動を仕組み、それに対する肯定的評価を与えていく。	
健やかな体	体力テストで、前年度の県平均を上回る	○各自目標値を持って取り組ませる。 ○弱点補強を授業とリンクさせる。	前年度の県平均を上回った項目の割合	70%以上	60%～69%	50%～59%	50%未満	1	●体力テストで前年度の県平均を超えた項目は22.2%であった。 ○昨年度より、男女とも県平均を超えた項目はわずかに増えている。	・体育の授業では、授業の開始時に必ず補強運動を入れる。 ・昼休憩にグラウンドに出て遊びやすい環境を作っていく。	
信頼される学校	保護者アンケート項目「子どもの学校の現状について」の満足度が昨年度を上回る。	○HPや学校だより等で、学校の取組や、やりきる生徒、関わりきる教職員の姿など、前向きな姿を発信する。 ○学校行事や日々の活動について生徒目線での記事を盛り込んだ親しみやすいホームページを20回以上更新する。	①保護者アンケートの結果（肯定的回答）の割合	すべての学年が昨年度以上	一部の学年が昨年度以上、どの学年も昨年度未満はなし	昨年度と同じ	昨年度を上回ることができない	-	※保護者アンケートは11月に実施予定 ○学校だよりは、毎月生徒の活躍の様子等を紹介し、発行することができている。 ○ホームページの記事の更新は、9月末の時点で15回更新できている。	・月に最低でも2回以上HPにアップし、生徒の様々な活動を紹介できるようにしていく。 ・学校だよりとともに学年通信・保健だより、図書通信などを通して生徒の活動を紹介できるようにしていく。・	